



AMPLIFIER INSTALLATION KIT FOR BOOM! AUDIO STAGE II SADDLEBAG LID SPEAKERS (BOOM! オーディオステージIIサドルバッグリッドスピーカー用アンプ取り付けキット)

概略

取り付けは販売店に依頼するようお勧めします。

キット番号

76000584

モデル

モデルの適合性については、純正P&Aカタログまたはwww.harley-davidson.comのパーツとアクセサリに関するセクション(英語版のみ)をご覧ください。

取り付け要件

注記

Stage IとStage IIのスピーカーを、同じ車両に混在させないでください。

このスピーカーは、2014年以降のハーレーダビッドソンオーディオシステム専用です。2006～2013年のハーレーダビッドソンオーディオシステムでこのスピーカーを使うと、スピーカーは回復できない損傷を受けます。これらのスピーカーを2005年以前のハーレーダビッドソンオーディオシステムに使用した場合、システムは回復できない損傷を受けます。

このキットを取り付ける際には、次の点に注意してください：

- ・ Boom!オーディオステージIIサドルバッグリッドスピーカーキット(部品番号76000319)の取り付け前。
- ・ フェアリングマウント式の主要アンプを取り付けた後で実施してください。
- ・ 塗装したまたは下塗りをしたサドルバッグリッドキットの取り付け前または後。
- ・ フェアリングロアスピーカーキットも取り付ける場合のみ：塗装したまたは下塗りをしたフェアリングロアスピーカーキャップキットの取り付け前または後。

アンプ(部品番号76000277A、このキットとともに取り付け)は、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網から別途購入してください。

車両に3つ以上のアンプが取り付けられている場合は、バッテリー+3ウェイY型コネクタ(部品番号70270-04A、別途購入)が必要です。1つのバッテリー+3極Y型コネクタを使用して最大3つ(3)のアンプを追加できます。

3つ以上のアンプが取り付けられている場合は、音声入力3ウェイY型コネクタ(本キットに付属)が必要です。

注記

オーディオシステムを作動する前に、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でラジオのEQを更新する必要があります。先にオーディオシステムを動かすと、すぐにスピーカーが破損してしまいます。(00645d)

Digital Technician® II診断ツールによるRadio EQの更新については、次の点に注意してください。

- ・ スピーカーを取り付ける前に実施するよう推奨します。
- ・ オーディオシステムを作動する前に行う必要があります。
- ・ ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でのみお問い合わせいただけます。

▲警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報を参照しています。このキットを取り付けるには、該当する年式/モデルの車両のサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

電氣的過負荷

注記

電気アクセサリを装着し過ぎると、車両の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気系統アクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気系統に損傷を与えるおそれがあります。(00211d)

▲警告

電気系統アクセサリを取り付ける場合、影響を受ける回路を保護するヒューズまたは回路ブレーカーの最大アンペア数を超えないよう注意してください。最大アンペア数を超えると、電氣的な不具合が生じ、死亡したり重傷を負う場合があります。(00310a)

このキットで取り付けられるアンプには、電気系統から最大8Aの追加電流を供給する必要があります。

キット内容

「図17」および「表1」を参照してください。

準備

▲警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあるため、メインヒューズを外して作業を開始してください。(00251b)

注記

サービスマニュアルを参照してください。メインヒューズを取り外します。

▲警告

マイナス(-)バッテリーケーブルを先に取り外します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00049a)

1. サービスマニュアルを参照し次を実行します:
 - a. シートを取り外します。シート取り付けハードウェアは全て保管します。
 - b. バッテリー上部からECMキャディを外します。
 - c. バッテリーケーブルを両方取り外します。先にマイナス(-)バッテリーケーブルを外してください。
 - d. バッテリーを取り外します。
 - e. 右サイドカバーを取り外します。
 - f. 左サイドカバーを取り外します。
 - g. 電装キャディを左サイドカバーの下に固定している、2つのボルトを外します。

右サドルバッグの穴開けおよびコネクターの取り付け

1. 右サドルバッグから物を全て取り出します。サドルバッグを取り外します。バッグライナーを取り外します(付いている場合)。

注記

切断およびドリルの際の塗装への損傷を防ぐためです。穴開けまたは切断を行う部分の両側をマスキングテープで覆ってください。

2. 取り付け面(内側)を上にした状態でサドルバッグを保護面に置きます。
3. 「図1」を参照してください。テンプレート(1)をサドルバッグに配置します。グロメット(2)およびラッチ(3)ファスナーの開口部を揃えます。「S' BAGSPEAKERONLY(サドルバッグスピーカーのみ)」と印が付けられた下の位置(4)および(5)にドリルで穴を開けます。
4. ロアコネクタースタンプ取り付け位置に4つの穴(5)をドリルで開けます。
4.5 mm (0.177 in)
5. コネクターの位置に穴(4)を1つ、ドリルで開けます。
22.5 mm (0.886 in)

6. 「図13」を参照してください。ハーネスの4ウェイフランジコネクタ[C36A](3)を使用してパイロットホールの位置を確認します。
7. コネクタが合うか試します。必要に応じて、テンプレートの穴を整形してください。
8. フェアリングロアスピーカー取り付けキットの一部として右サドルバッグにもアンプを取り付ける場合: フェアリングロアスピーカー取り付けキットの指示に従い、2つあるアッパーバルクヘッドコネクタ用の穴を開けてください(「図1」のアイテム6を参照)。

注記

ロアスピーカー用に上側の穴を開けた場合のみ: 一番下のサドルバッグ穴に内側からコネクタを挿入してください。

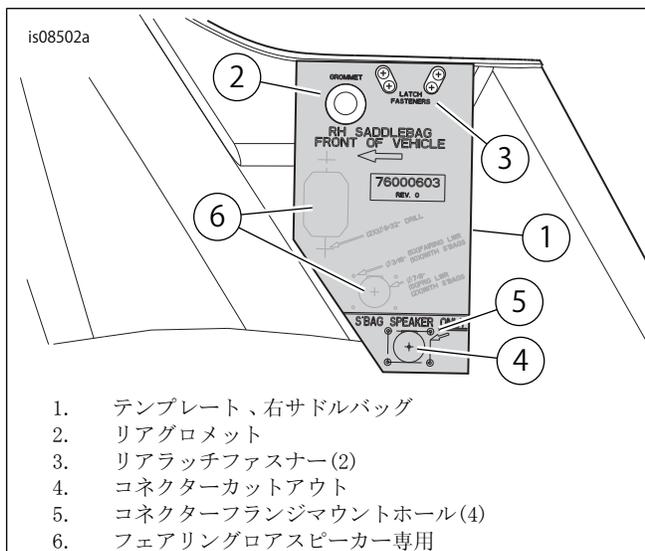


図1. ステージIIサドルバッグスピーカーを取り付けるために右サドルバッグにドリルで穴を開ける

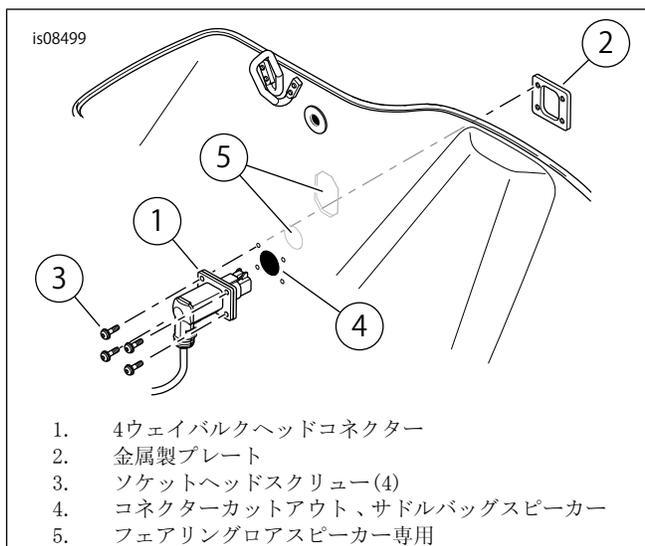


図2. 4ウェイハーネスコネクタの取り付け

9. 「図2」を参照してください。サドルバッグハーネスにある4ウェイバルクヘッドコネクタ(1)から金属製プレート(2)を取り外します。サドルバッグ穴(4)に内側からコネクタを挿入します。

10. 金属製プレートをサドルバッグ外側のコネクタと隣接するようにスライドさせます。コネクタを、ソケットヘッドスクリュー(3)を使用して、サドルバッグの内側から固定します。締め付けます。

トルク: 4-4.5 N・m (35-40 in-lbs) 六角ソケットヘッドスクリュー

注記

スピーカー接続[36TB]および[36WB]は、サドルバッグスピーカーの手順書で説明されています。

左サドルバッグの穴開け、アンプの取り付け、コネクタの取り付け

1. 左サドルバッグから物を全て取り出します。サドルバッグを取り外します。バッグライナーを取り外します(付いている場合)。

注記

切断およびドリルの際の塗装への損傷を防ぐためです。穴開けまたは切断を行う部分の両側をマスキングテープで覆ってください。

2. 取り付け面(内側)を上にした状態でサドルバッグを保護面に置きます。「図3」を参照してください。テンプレート(1)をサドルバッグに配置します。グロメット(2)およびラッチファスナー(3)の開口部を揃えます。コネクタ[288A]用の切り抜きの輪郭(4)をサドルバッグ上にトレースします。以前の取り付けでサドルバッグリッドスピーカーが装着されている場合は、左側のスピーカー配線がコネクタのカットアウト位置にある場合があります。ワイヤーとグロメットを取り外します。

3. 慎重に、テンプレート(1)のコネクタ[288A]用のカットアウト(4)を点線に沿って切り抜きます。

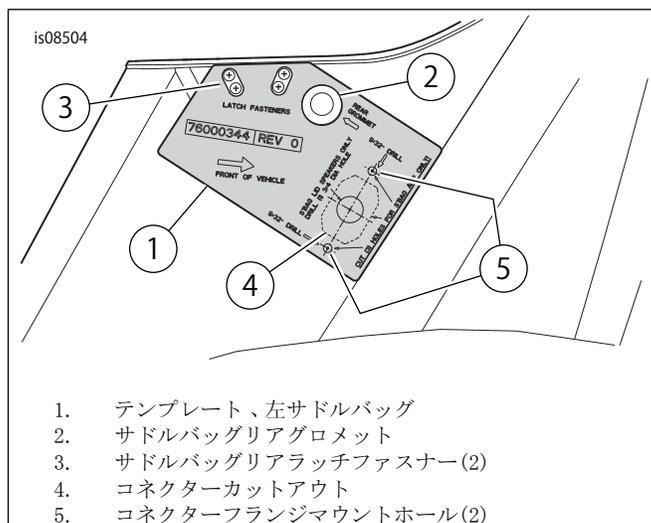
4. コネクタフランジの取り付け位置に、パイロットホール(5)を2つ、ドリルで穴を開けます。

5. テンプレートを取り外します。キット付属のサドルバッグハーネス(「図12」のアイテム4を参照)の18ウェイフランジコネクタ[288A]を使用して、カットアウト(4)の大きさを確認します。

6. コネクタ[288A]のためのカットアウトをサドルバッグの側面に開けます。

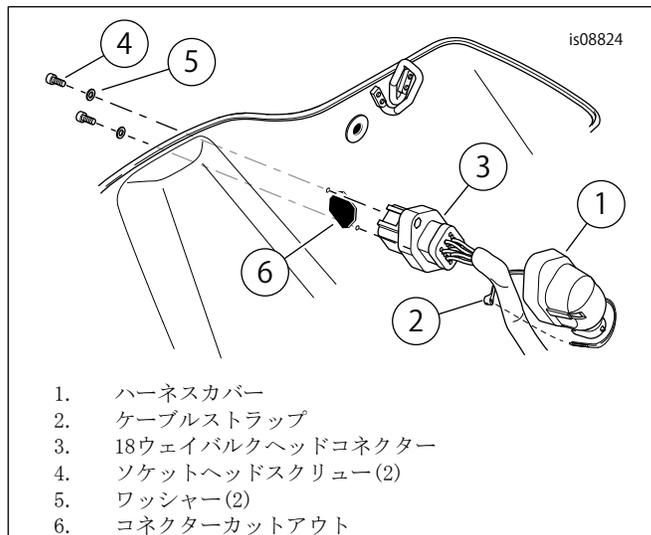
7. 「図3」のアイテム5を参照してください。コネクタフランジの取り付けパイロットホールの位置に2つの穴をドリルで開けます。

長さ/寸法/距離: 7.25 mm (1/2 in)



1. テンプレート、左サドルバッグ
2. サドルバッグリアグロメット
3. サドルバッグリアラッチファスナー(2)
4. コネクタカットアウト
5. コネクタフランジマウントホール(2)

図3。ステージIIアンプを取り付けるために左サドルバッグにドリルで穴を開ける



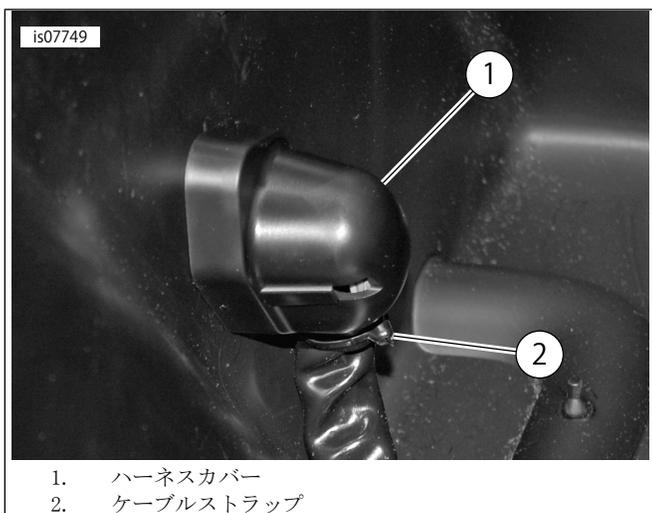
1. ハーネスカバー
2. ケーブルストラップ
3. 18ウェイバルクヘッドコネクタ
4. ソケットヘッドスクリュー(2)
5. ワッシャー(2)
6. コネクタカットアウト

図4。左サドルバッグに18ウェイコネクタおよびカバーを取り付ける

8. 「図4」を参照してください。サドルバッグハーネスから出ている18ウェイバルクヘッドコネクタ(3)のピン側を、内側からコネクタカットアウト(6)に挿入します。サドルバッグの外側から、ソケットヘッドスクリュー(4)およびワッシャー(5)を使用して、コネクタを固定します。締め付けます。

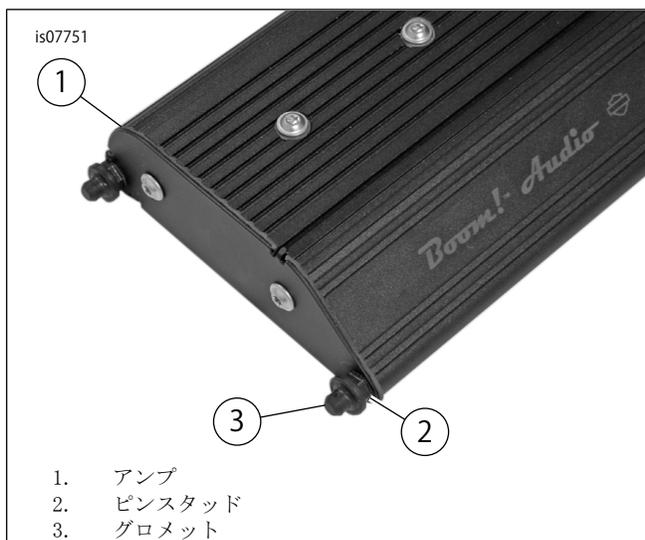
トルク: 4-4.5 N・m (35-40 in-lbs) M5六角ソケットヘッドスクリュー

9. 「図5」を参照してください。18ウェイコネクタにハーネスカバー(1)をパチンとはめます。ケーブルストラップ(2)で固定します。アンプが装備された後はハーネスがサドルバッグ内部に通されます。



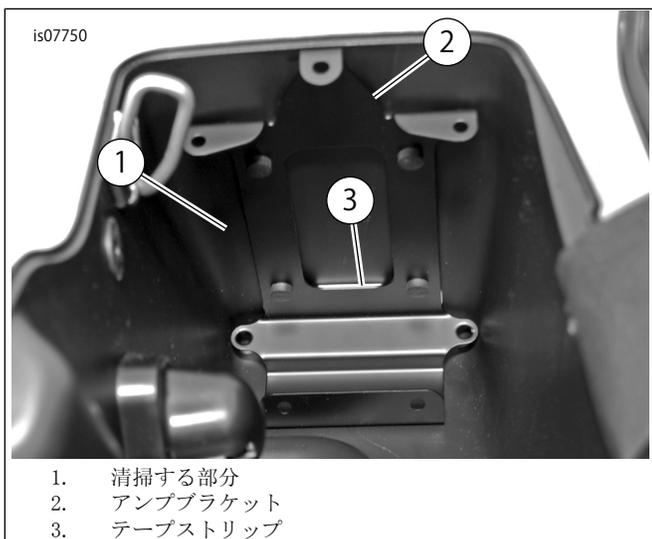
1. ハーネスカバー
2. ケーブルストラップ

図5。ハーネスカバー



1. アンプ
2. ピンスタッド
3. グロメット

図7。アンプのピンスタッド



1. 清掃する部分
2. アンプブラケット
3. テープストリップ

図6。アンプブラケットの取り付け



1. アンプ
2. 六角ソケットボタンヘッドスクリュー

図8。アンプの取り付け

10. 「図6」を参照してください。イソプロピルアルコールと蒸留水を5:5で混ぜたもので、サドルバッグ内側のリア部と底部の表面の汚れを取り除きます。

注記

4片のテープストリップが全てサドルバッグに触れていることを確認してください。

11. アンプブラケットのテープストリップから4つの保護用内張り材を取り外します。図のように、ブラケットを配置します。

12. 「図7」を参照してください。アンプにアンプピンスタッドを取り付けます。締め付けます。

トルク: 9.4-12.2 N·m (7-9 ft-lbs)

13. グロメットを取り付けます。

14. 「図8」を参照してください。グロメットでアンプをアンプブラケットの底の穴に設置します。上部をブラケット内にスライドさせます。六角ソケットボタンヘッドスクリュー(2)を取り付けます。締め付けます。

トルク: 9.4-12.2 N·m (7-9 ft-lbs)

15. 「図9」を参照してください。サドルバッグハーネスのコネクター[149]をアンプの上部に接続します。サドルバッグ側のハーネスを左サドルバッグの内側へ取り回します。イソプロピルアルコールと蒸留水を5:5で混ぜたもので、ハーネスの経路に沿って、サドルバッグ内側の底部および側面の表面の汚れを取り除きます。図のように、ケーブルストラップとベースで固定します。

注記

スピーカー接続[37TB]および[37WB]は、サドルバッグスピーカーの手順書で説明されています。

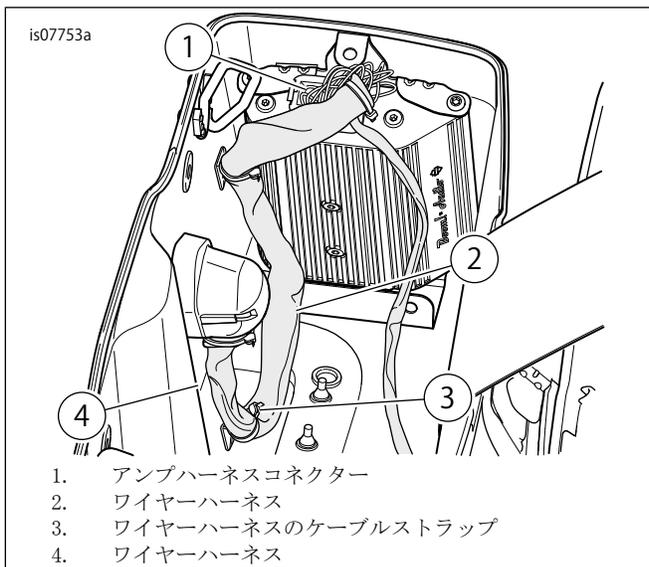


図9. インナーハーネスの取り回し

アンプハーネスの取り付け

注記

配線を全てシートの下にきちんと収納するために、以下のヒントが役立つでしょう(特に2基以上のアンプを取り付ける場合)。

- ・ まず、車両側のアンプハーネスを、大型18ウェイアンプコネクタ[288B]から車両の前方に取り回します。大型コネクタは、狭い隙間を通すことができません。
- ・ フレームレール下の全てのワイヤハーネスを、カバーやシートに引っかからないように取り回します。
- ・ アンプハーネスブランチは全て、スパークプラグのワイヤから離して取り回すよう注意してください。近すぎるとスパークノイズがオーディオシステムに入り込むおそれがあります。
- ・ 車両の片側からもう片側に配線を取り回す際は、バッテリーコンパートメントにはアクセスできるように、ハーネスをバッテリー後方のフレームトレー下に押し込んでください。
- ・ 6ウェイオーディオコネクタ(黒とピンクのワイヤ)を、右フレームレールの下を通して、右サイドカバー内に取り回します。ABSモジュールがある場合は、そのABSモジュールの前面で束ねます。
- ・ 6ウェイ灰色データリンクコネクタ(DLC)を左フレームレールに沿って取り回します。コネクタを、バッテリー前面のフレームにあるポケット、フレームバックボーンに沿った配線用ケースの下に結束します。

1. 「図10」を参照してください。車両側のアンプハーネス(1)をサドルバッグの取り付け部に取り回して車両の準備を開始します。サドルバッグサポートレールに沿って、ハーネスをリアホイールスプロケット付近に取り回します。

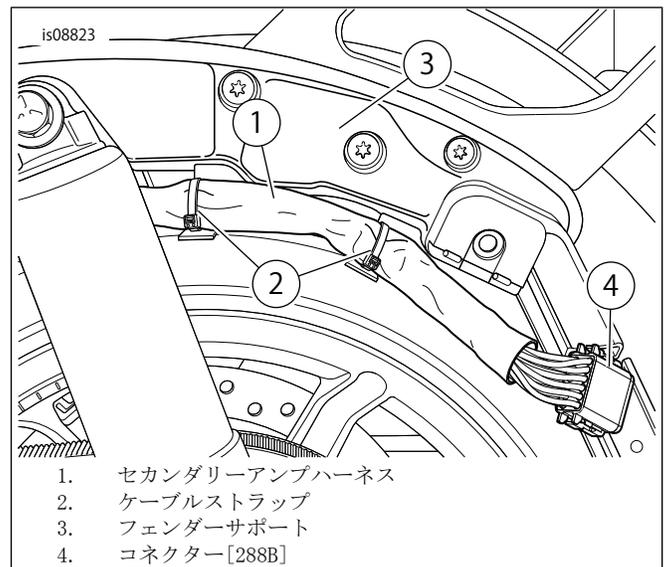


図10. ハーネスの取り回し

2. 次のようにハーネスを取り回します。
 - a. フレームの後方および下を通して
 - b. シート下のバッテリーエリアまで。
3. ケーブルストラップ(2)で、ハーネスをサドルバッグサポートに軽く固定します。サドルバッグ後部のアタッチメントポイントの近くにある大きな穴、またはサポートの底部にあるケーブルストラップのスロット1つを使用します。
4. 左サドルバッグを一時的にサポートアッセンブリに取り付けます。十分なクリアランスがあることを確認したら、ケーブルストラップを締め付けます。サドルバッグを取り外します。
 - a. 車両側面のハーネスコネクタがサドルバッグコネクタに届くことを確認してください。
 - b. アンプハーネスコネクタとハーネス取り回しが、可動部品上にないことを確認します。
 - c. ショックアブソーバーが完全に伸びた状態、または縮んだ状態でも接触がないことを確認します。

注記

引き続き車両の前方に向かってハーネスを取り回していきます。

5. 「図16」を参照してください。Tour-Pak既装備車の場合はシート下のエリアで、Tour-Pak非装備の場合はフェアリング内部で黒色の4ウェイモレックスコネクタ[296A]を見つけます。FLHX/FLTRXモデル：フェアリングアンプ(部品番号69200489)に付属のジャンパーハーネス(11)をコネクタ[162](8)に接続します。FLHTCU/FLHTKモデル：コネクタ[162](7)に取り付けられているインターコネクタ(11)(部品番号69200714)ハーネスを、主要アンプに付属の16ウェイ([162C]および[162D])コネクタ2つと4ウェイ([296A]および[297B])コネクタ2つに取り付けます。ステージIIアンプをリアに1台のみ取り付けの場合：先ほど見つけた4ウェイ[296A]コネクタからプラグを抜きます。アンプハーネス[296B](10)を接続します。ステージIIアンプをリアに2台以上取り付けの場合：「図16」を参照してください。このキットのオーディオ入力ハーネスのソケット側を、先ほど見つけたコネクタ[296A]に差し込みます。連なっているハーネスの各[296B]を、それぞれに対応する入力ハーネス(最大で3つのアンプ)のピン側に接続します。

6. 灰色の6ウェイDLC(データリンクコネクタ)[91A]を電装キャディ内に置きます。
 - a. キャップを取り外します。
 - b. コネクタ[91A]を、電装キャディを通して、シートの下、キャディの奥に引き戻します。
 - c. アンプハーネスからの灰色6ウェイソケットコネクタ[91B]をシート下のコネクタ[91A]に接続します。
 - d. アンプハーネスからの灰色6ウェイピンコネクタ[91A]を電装キャディに取り回します。
 - e. 既に取り外しておいたウェザーキャップを新品のピンコネクタ[91A]に挿入します。キット付属のケーブルストラップ(17)で、テザーをハーネスに固定します。

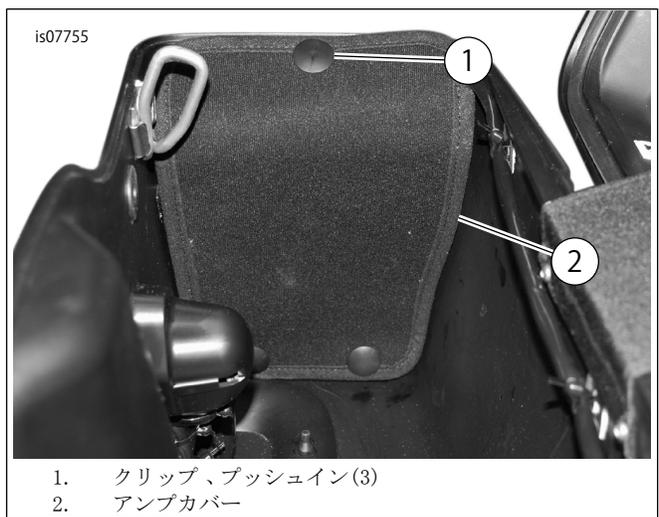
注記

- ・ 3つ以上のアンプや他のアクセサリが、バッテリーのアースポストを既に使っている場合は、いずれかのフレームアーススタッドを使ってください。
 - ・ 1つのバッテリー+3ウェイY型コネクタ(部品番号70270-04A)だけで、最大4つのアンプの取り付けに対応できます。3つ以上のアンプが取り付けられている場合は、音声入力3ウェイY型コネクタ(本キットに付属)が必要です。
7. バッテリーターミナルブランチをバッテリーターミナルに通しますが、この時点では、バッテリーケーブルを接続しないでください。
 8. 長い方のハーネスブランチ(6ウェイソケットコネクタ[36B]で)を車両の右側に取り回します。ケーブルストラップ(3)で、ハーネスをサドルバッグサポートに軽く固定します。サドルバッグ後部のアタッチメントポイントの近くにある大きな穴、またはサポートの底部にあるケーブルストラップのスロット1つを使用します。

9. 右サドルバッグを一時的にサポートアッセンブリーに取り付けます。十分なクリアランスがあることを確認したら、ケーブルストラップを締め付けます。サドルバッグを取り外します。
 - a. 前に取り付けたサドルバッグコネクタ[36A]まで車両側ハーネスコネクタ[36B]が届くことを確かめます。
 - b. アンプハーネスコネクタとハーネス取り回しが、可動部品上にないことを確認します。
 - c. ショックアブソーバーが完全に伸びた状態、または縮んだ状態でも接触がないことを確認します。
10. Boom!オーディオサドルバッグスピーカーキットの説明書に従って、取り付けを完了します。

サドルバッグの配線

1. 「図11」を参照してください。アンプカバーをブラケットに取り付けます。3つのクリップで固定します。
2. サドルバッグライナーがある場合：サドルバッグライナーを切り揃えます。サドルバッグライナーを取り付けます。



1. クリップ、プッシュイン(3)
2. アンプカバー

図11. アンプカバー

3. サドルバッグを取り付けます。全てのサドルバッグのコネクタを接続します。
4. 新しいサドルバッグの容量ラベル(サドルバッグリッドキットに含まれています)を左サドルバッグの既存のラベルの上に貼ります。アンプの取り付けにより、左サドルバッグの荷重限度が変更されていることにご注意ください。
5. 電装キャディを左サイドカバーの下に、先に取り外した2つのボルトで取り付けます。締め付けます。
トルク：8.1-10.8 N·m (72-96 in-lbs)
6. 左サイドカバーを取り付けます。
7. 右サイドカバーを取り付けます。

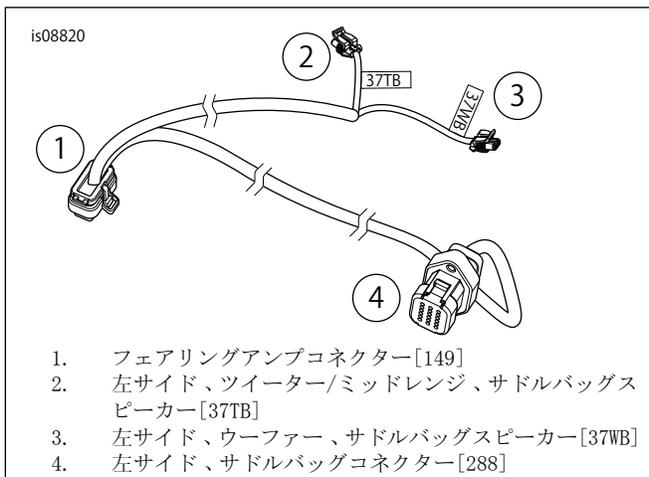


図12。ワイヤーハーネス、左側サドルバッグスピーカー

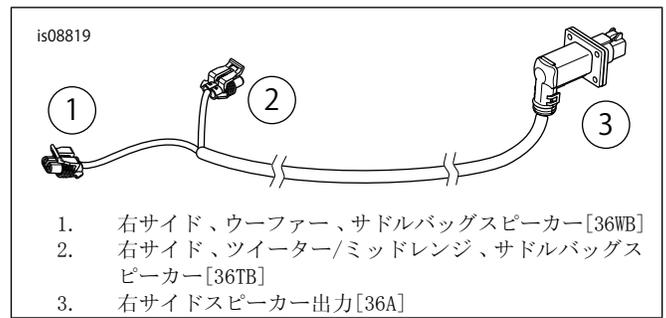


図13。ワイヤーハーネス、リアスピーカージャンパー

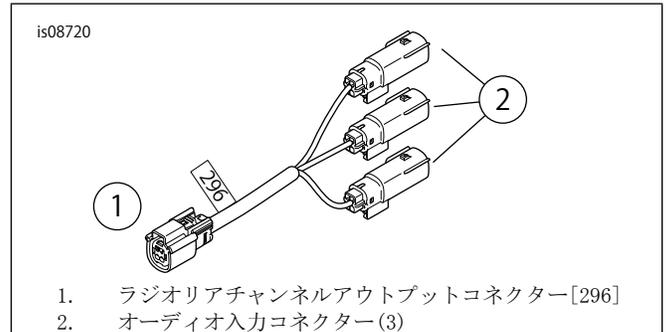


図14。オーディオ入出力ワイヤーハーネス

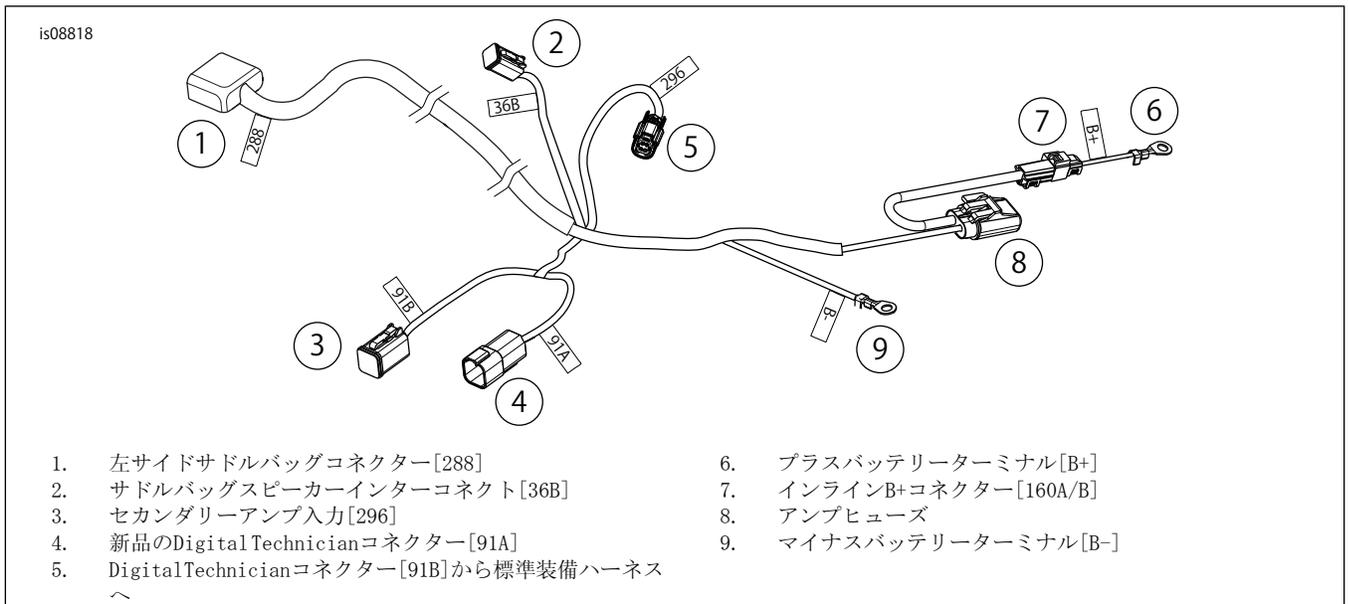
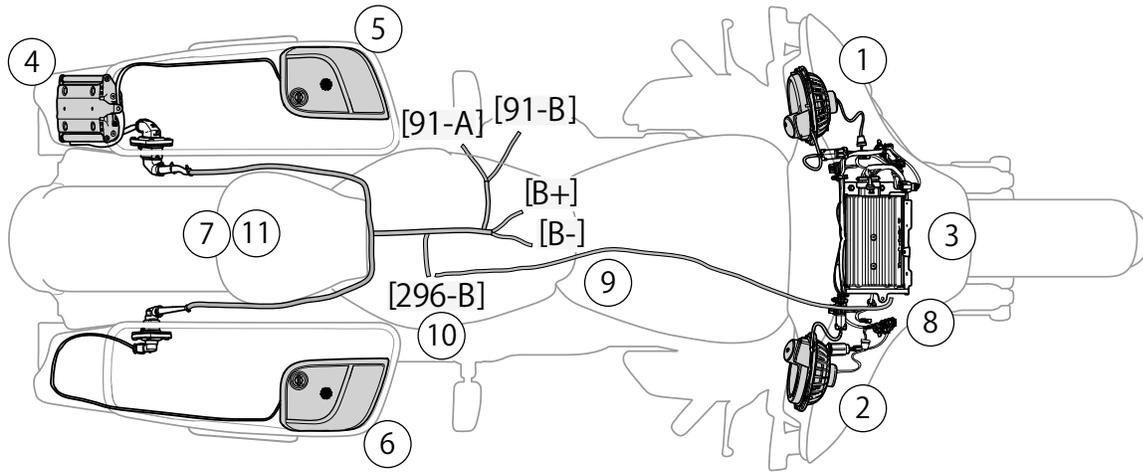


図15。ワイヤーハーネス



- | | | | |
|----|--------------------------|-----|-----------------------------|
| 1. | 左サイドフェアリングスピーカー(前に取り付けた) | 7. | コネクター[162] (シート下) |
| 2. | 右サイドフェアリングスピーカー(前に取り付けた) | 8. | コネクター[162] (フェアリング内) |
| 3. | アンプ、フェアリング(前に取り付けた) | 9. | ジャンパーハーネス (Tour-Pak非装備車) |
| 4. | アンプ、左サイドサドルバッグ | 10. | コネクター[296B] |
| 5. | 左サイドサドルバッグスピーカー | 11. | スピーカーインターコネクト (Tour-Pak装備車) |
| 6. | 右サイドサドルバッグスピーカー | | |

図16。サドルバッグスピーカーおよび左サイドサドルバッグアンプ

完了

注記

サウンドシステムを損傷させないため、バッテリーケーブルを取り付ける前に、イグニッションスイッチがOFF（オフ）になっているか確認してください。

▲ 警告

プラス(+)側のバッテリーケーブルを先に接続します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00068a)

1. サービスマニュアルを参照してください。バッテリーターミナルブランチをバッテリーターミナルに接続します(赤のプラス(+)ケーブルが先)。
 - a. プラス(+)のリングターミナルをプラスバッテリーターミナルに置きます。ボルトを取り付けます。
 - b. インラインヒューズホルダーをアクセスしやすい場所に設置します。
 - c. マイナス(-)のリングターミナルをマイナスバッテリーターミナルに置きます。ボルトを取り付けます。
 - d. 両方のボルトを6.8-7.9 N·m (60-70 in-lbs)のトルク値で締め付けます。
2. バッテリーターミナルにワセリンまたは腐食防止剤を薄く塗布します。
3. サービスマニュアルに従ってECMキャディを取り付けます。
4. サービスマニュアルを参照してください。シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。
5. メインヒューズを取り付けます。

is08821

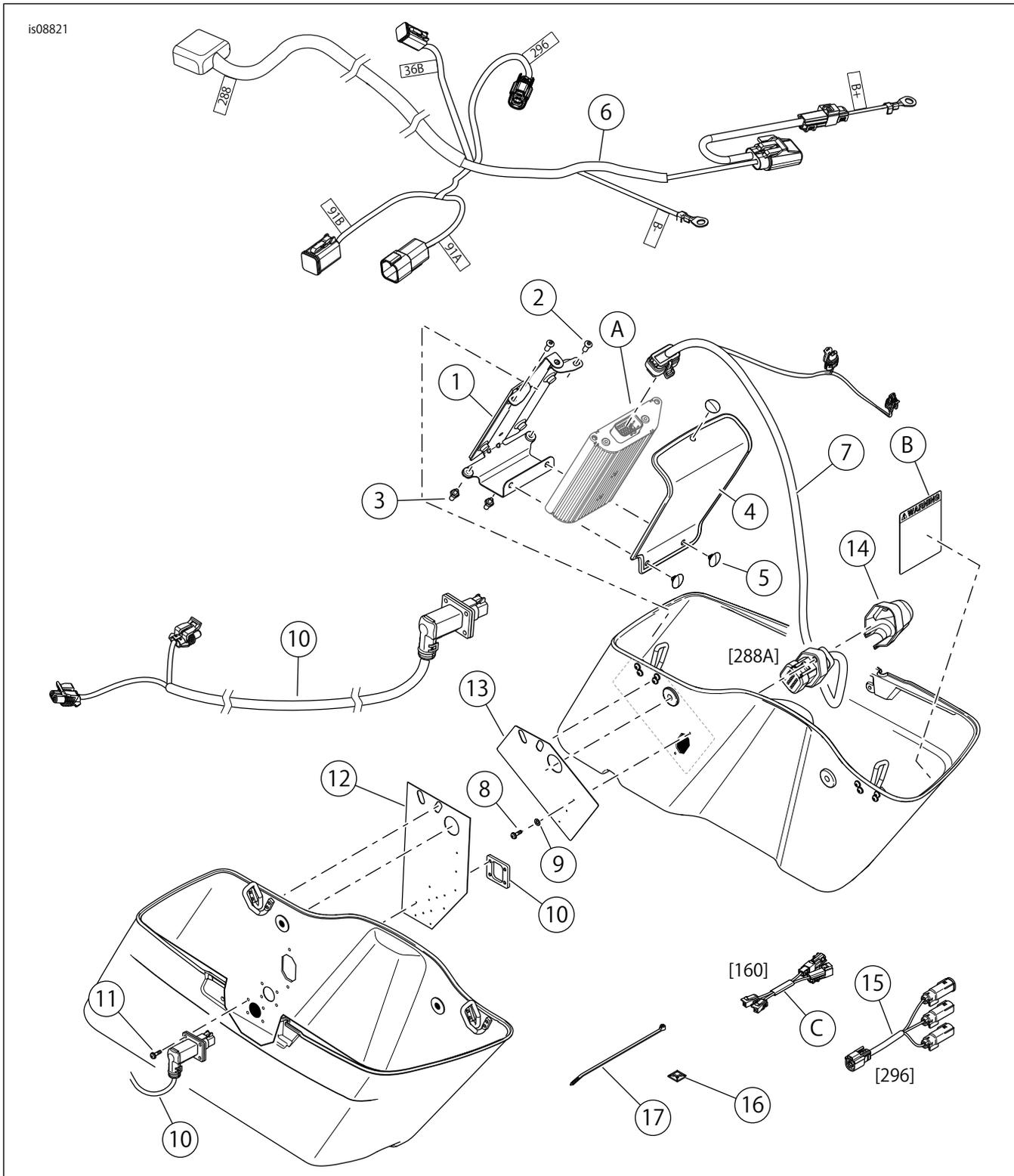


図17. 交換用パーツ、Boom! オーディオサドルバッグスピーカー用アンプ取り付けキット

交換用パーツ

表1。交換用パーツ

アイテム	詳細(数量)	部品番号
1	アンプブラケット	76000282A
2	スクリュー、六角ソケット、ボタンヘッド(2)、 1/4-20x長さ0.62インチ、グレード8、ロックパッチ付き	926
3	ピンスタッド(2)	12600087
4	カバー、アンプ	76000502
5	クリップ、プッシュイン(3)	12600068
6	ワイヤーハーネス、車両側、Boom!オーディオステージIIサドルバッグスピーカー	69200922
7	ワイヤーハーネス、サドルバッグ側、Boom!オーディオステージII右サドルバッグスピーカー	69200923
8	スクリュー、六角ソケットヘッド、M5-0.8x長さ12mm(2)	3798M
9	平ワッシャー、M5(2)	6454
10	ワイヤーハーネス、サドルバッグ側、Boom!オーディオステージII左サドルバッグスピーカー	69200916
11	スクリュー、パンヘッド、トルクス、No. 8-32x長さ0.62インチ、ステンレス、ロックパッチ (4)付き	10200065
12	穴開け用テンプレート、サドルバッグアンプコネクタ(右)	76000603
13	穴開け用テンプレート、サドルバッグアンプコネクタ(左)	76000344
14	カバー、サドルバッグアンプコネクタ	69200586
15	ワイヤーハーネス、オーディオ入力	69201092
16	ベース、ケーブルストラップ(10)	69200342
17	ケーブルストラップ(10)	10006
キットには含まれない本文中記載のアイテム:		
A	アンプ(部品番号76000277A、別途購入)	
B	サドルバッグ容量ラベル(サドルバッグリッドキット付属、部品番号14001047)	
C	ワイヤーハーネス、アクセサリアダプター(部品番号70270-04A、必要に応じて別途購入)	

配線図の情報

配線色コード

単色配線の場合: 「コネクタ/配線図の記号(標準)」を参照してください。英文字コードで配線の色を示します。

ストライプ付き配線: コードは実線色付きコードとストライプのコードの間にスラッシュ(/)を入れて記されています。たとえば、GN/Yと記された配線は、黄色のストライプが入った緑の配線になります。

配線図の記号

「コネクタ/配線図の記号(標準)」を参照してください。角カッコ([])はコネクタ番号を示します。カッコ内の英文字は、ピンハウジングかソケットハウジングかを示します。

A=ピン:Tコネクタ番号の後の文字Aおよびピン記号はターミナルコネクタのピン側を表します。

B=ソケット: コネクタ番号の後の文字Bおよびソケット記号はターミナルコネクタのソケット側を表します。配線図にあるその他の記号は以下のとおりです:

ダイオード: ダイオードは回路の中で電流を一方向のみに流します。

配線の中断: 配線の中断は、オプションによる違いや配線の途中でページが途切れていることを示します。

接続なし: 配線図内で2本の線が互いに交差していても、その交点に接合部(ドット)が表示されていない場合は、その2本の線は互いに接続されていません。

回路の方向: この記号は、別ページに完全な回路の配線図があることを示します。また、この記号は電流の方向も示しています。

接合部: 接合部は2本以上の配線が配線図上で接続されている場所を示します。図上で接合部が示されている場合、その記

載の目的はその回路に配線が接合されていることを示すことのみであり、ワイヤーハーネスの接合位置を示すものではありません。

アース: アースは、クリーンアースとダーティアースとに分類できます。一方は(BK/GN)配線で、通常はセンサーやモジュールに使用されます。

注記

このアースは通常、アース回路に電氣的干渉を引き起こす電気モーターやコイルなどを持ちません。

もう一方のアースは(BK)配線で、電氣的干渉に影響されない構成部品に使用されます。

ツイストペア: この記号は2本のワイヤーがハーネス内でよじつてあることを示します。これにより外部から回路への電磁干渉を最小限にしています。これらの配線に修理が必要な場合、配線はよじれたままにしておきます。

表2。配線色コード

コード	配線色
BE	青
BK	黒
BN	茶
GN	緑
GY	灰
LBE	水色
LGN	薄緑
0	オレンジ
PK	ピンク
R	赤
TN	タン
V	紫
W	白
Y	黄

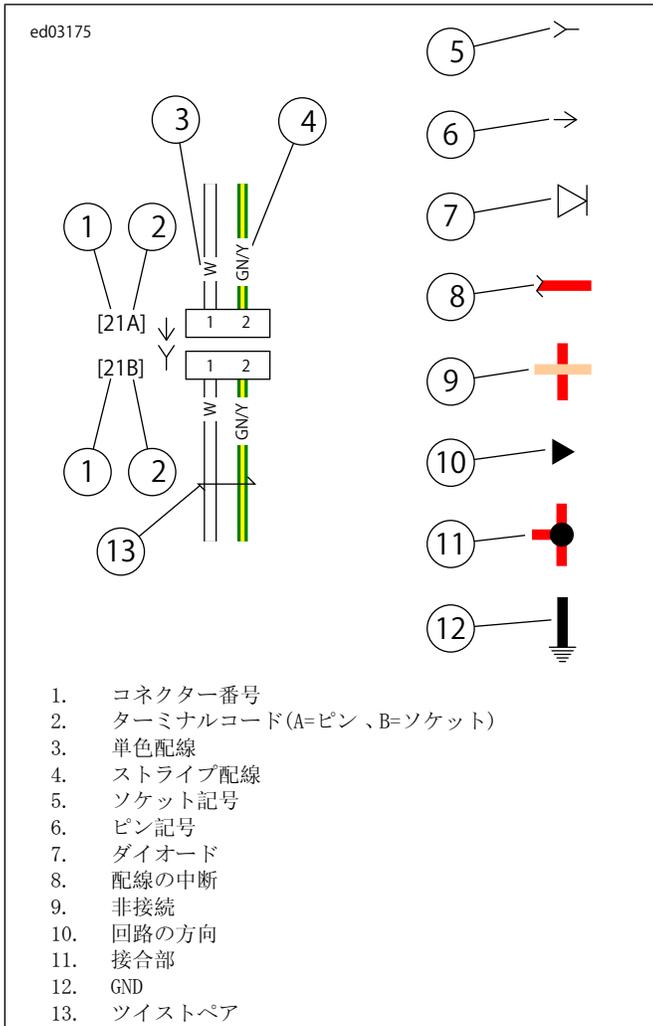
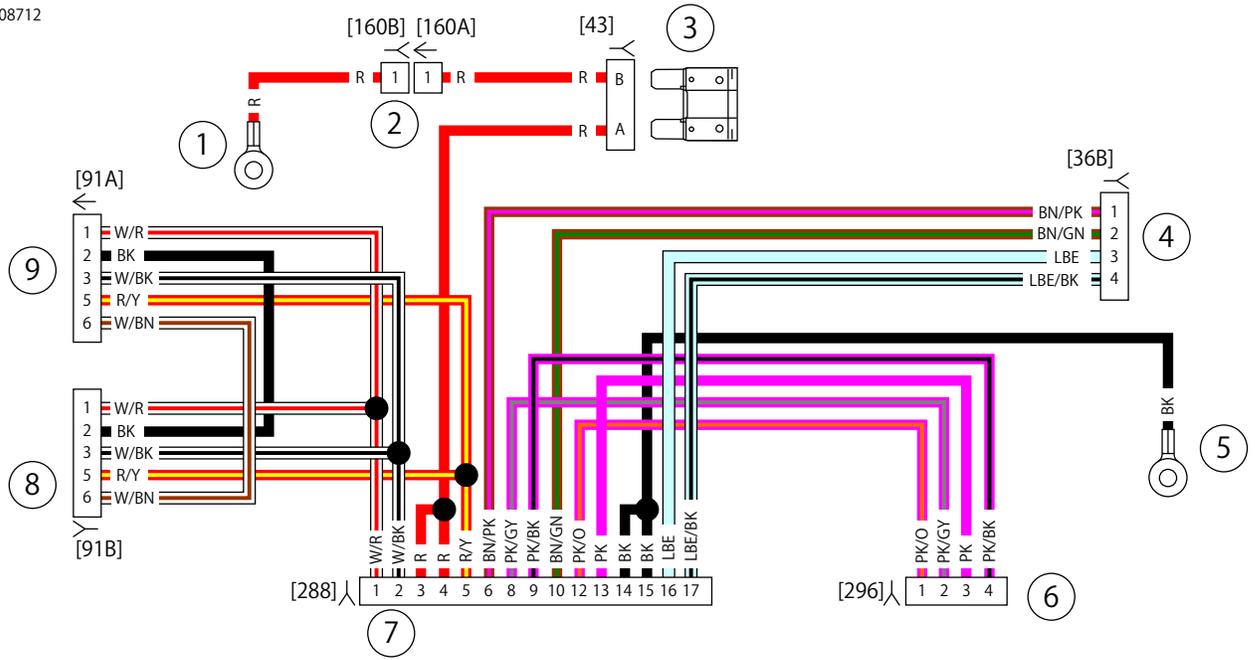
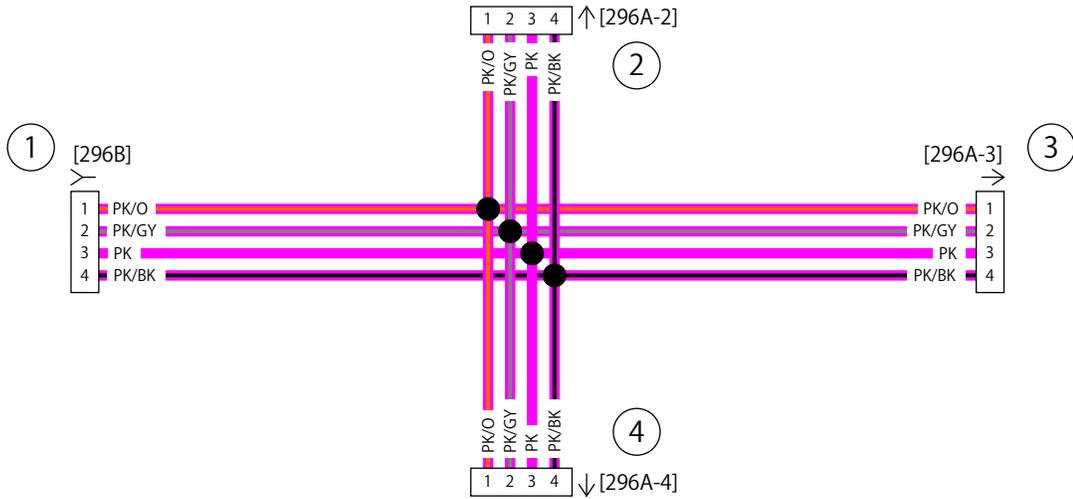


図18。コネクターおよび配線図の記号



- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. プラスリングターミナル[B+] | 6. リアアンプ入力コネクタ[269] |
| 2. インラインB+コネクタ[160A/B] | 7. 左サドルバッグアンプコネクタ[288] |
| 3. アンプヒューズ | 8. データリンクコネクタ[91B] |
| 4. サドルバッグスピーカーインターコネクタ[36B] | 9. データリンクコネクタ[91A] |
| 5. マイナスリングターミナル[B-] | |

図19。サドルバッグスピーカーワイヤーハーネス



- | | |
|----------------|----------------|
| 1. セカンダリーアンプ入力 | 3. セカンダリーアンプ出力 |
| 2. セカンダリーアンプ出力 | 4. セカンダリーアンプ出力 |

図20。オーディオ入力ハーネス

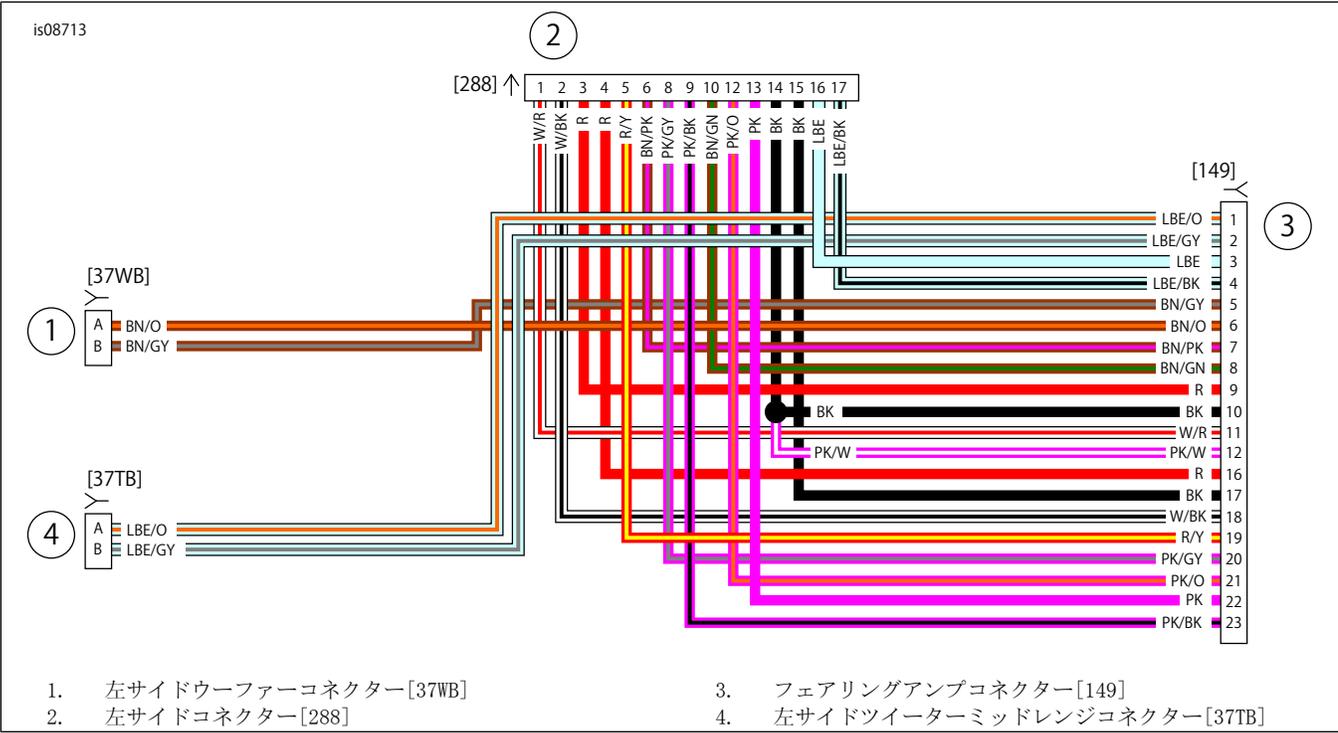


図21。左サイドサドルバッグスピーカーワイヤーハーネス

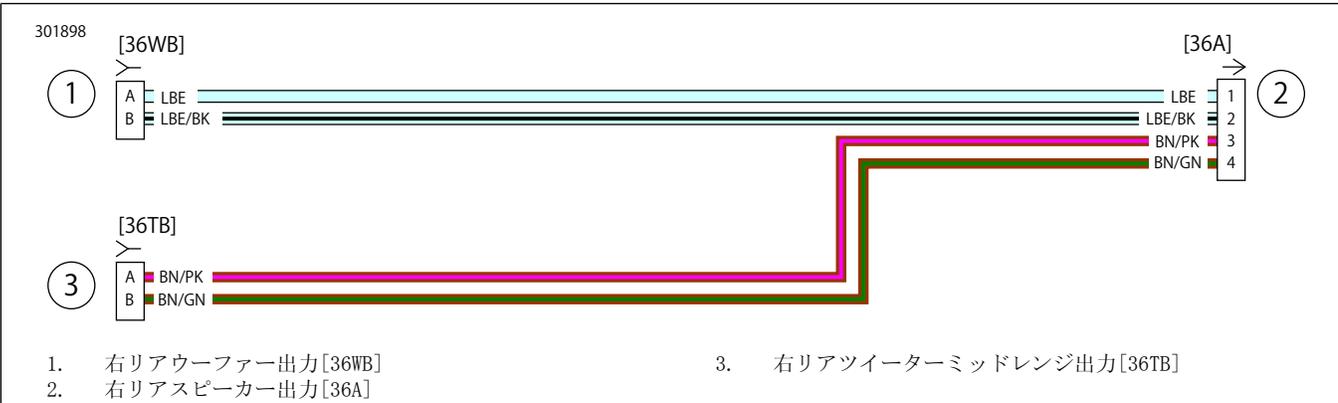


図22。リアスピーカージャンパーワイヤーハーネス